

小谷先生御説明概要  
(事務局作成)

○司令塔について

- ・ 科学技術には以下の5つの面があると考える。
  1. 日本が国際社会を主導するための国力
  2. 人類が直面している課題の解決
  3. 長期的な発展
  4. 人類の知的活動
  5. 人材育成
- ・ 3～5は長期的にイノベーションを生み出す土壌になる事項であり、長期的な検討が必要。1、2といった出口を見据えたものとは車の両輪のようなものであり、バランスが必要。目先の短期的な対応も重要だが、国際社会を主導するならば、潜在している価値、課題の発見に国際的なイニシアチブをとって取り組むことが必須であると考える。
- ・ 特に「5. 人材育成」では、専門的知識を持った学位取得者が活躍できる多様な場の提供が必要。基礎から出口までシームレスな研究層の厚さの確保が必須となる。
- ・ 「2. 人類が直面している課題の解決」に関しては、日本発のイノベーションを生む司令塔が必要。司令塔に一番大切なことは、一段上から各省に明確に指示が出来ることであり、
  - ・ 戦略性
  - ・ 迅速性
  - ・ 総合性を持つべき。
- ・ また、司令塔の構成員は、
  - ・ 実行権限を持つ委員
  - ・ それを支える有識者
  - ・ 学術界の代表が必要である。
- ・ 司令塔組織は、
  - ・ 司令塔組織は、決定事項に重みがあり、予算や人材にも関与できるものでなければ機能しない。
  - ・ 国としての戦略を決めるものであり、即時公開しない議論であってもよい。
  - ・ 一人一人の有識者の担当や役割を明確にする必要がある。
  - ・ 司令塔組織の直下にシンクタンク機能を持つことが最も重要。

(各省庁の下にある調査機能との連携が必要であるとともに、司令塔の直下にも調査機能が必要。)

○科学技術顧問について

- ・顧問は幅広い知識とネットワークを持った人である必要がある
- ・実行権限を持つことなく、総理や大臣に提言する形が望ましい
- ・ふさわしいのは、個人ではなく学術界を代表する長
- ・若い人材が元気に科学技術を志せるよう、未来ビジョンを明確にし、科学技術政策の安定性と継続性を担保することが必須